

教科	総合	科目	グローバル探究Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年
使用教科書	なし						
副教材等	課題研究メソッド 2nd Editionシリーズ、日経電子版新聞						

1 授業及び学習の方法等

<p>1. 参加型・講義型学習、プレゼンテーションや論文など、学習課題に応じて多様な学習・発表形態を用いる。</p> <p>2. 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けるために、教科学習と横断的・総合的に連携したカリキュラムを設計する。</p> <p>3. 探究の過程である「課題設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」を発展的に繰り返し、校内外を問わずに探究調査や発表の場を広げることを通じて、自身の興味関心に基づいた探究活動に取り組めるように支援する。</p> <p>4. 「よりよい社会の創造に貢献する」ことを共通テーマに、個人探究活動を行う。教員1名が約20名ずつの生徒を受け持ち、生徒の探究活動を個別に支援する。</p>
--

2 学習の到達目標

<p>地域から世界に至るまでの多様な課題に対して批判的思考を行い、文化の差異や人間としての存在意義を理解し、問題解決に向けて取り組むことで、平和な社会の構築に資する資質と能力を養う。</p> <p>1. グローバル探究Ⅰの知見に基づき、多様な学科を連携させた学習や外部の専門家からの講義を通じて、問題の発見及び解決に必要な知識と技術を習得する。</p> <p>2. ユネスコの国際教育理念に則り、人の尊厳と平等を重んじながら、ESD関連のテーマについての理解を深め、持続可能な社会構築に向けた姿勢を身に付ける。</p> <p>3. 現代社会が直面する課題に能動的に取り組む、仮説を立て、研究を進め、得られた情報を分析する能力を身に付ける。そして、その結果を論理的に組み立て、表現する力を養う。</p>
--

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	よりよい社会を創造していく大切さを理解した上で、そのために必要な取り組みを考案し、調査・実験等を適切かつ正確に実施した。	自己の関心をもとに、現代社会の諸問題に関連する探究課題を設定し、それに応じた情報収集を行ったり適切な検証方法を考えたりして、探究できた。また、探究活動を通じて得たものを、今後の在り方に生かすことができている。	様々な先行研究を踏まえながら、自らの探究内容の特徴を捉え、現代社会の諸問題に真摯に向き合うことができた。そして、よりよい社会の実現に貢献しようとしている。
評 価 方 法	研究計画書や研究ノート、最終レポートの記述、探究の成果発表等の内容から評価する。	研究計画書や研究ノート、最終レポートの記述、探究の成果発表等の内容から評価する。	研究計画書や研究ノート、最終レポートの記述、探究への取り組みの姿勢（行動の観察）、探究の成果発表等の内容から評価する。

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価します。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習活動

期	単元	内容(項目), 教材, 目標	主な評価規準
前期中間		<p>①自らの関心が向く社会テーマを見つけ、新聞記事を通じてキーワードを抽出する。</p> <p>②図書や電子ジャーナルの効率的な検索法を学び、実際のデータベースを使用する経験を積む。</p> <p>③物事を多面的に見ることの大切さを理解し、振り返りを通して学んだことを自己評価する。</p> <p>④外部の専門家や実務家を招いた講演会やワークショップを実施し、異なる視点から物事を考える能力を養う。</p>	<p>a: 複数の信頼できる情報源から適切なデータを収集し、関連する文献を効率的に特定・分析することができ、指定の引用スタイルに従った正確な出典表記ができる。</p> <p>b: 興味・関心に基づく課題の設定、情報の批判的分析、多角的自己評価及び異なる視点から物事を考えることができる。</p> <p>c: 社会的テーマを選び情報を整理する能力、効率的な情報検索と活用、自己評価を通じた学びの振り返り、異なる視点を統合できる。</p>
前期期末	探究計画を立てる	<p>①文献調査を通じて、現代社会の諸問題に気付く。</p> <p>②様々な先行研究等にあたることで、自らの興味分野に多角的に向き合う。</p> <p>③自らの研究テーマを設定し、個人探究を行う。</p>	<p>a: 出典が明確で信頼できる著者による正確で最新のデータから、異なる立場や視点から書かれた研究も参照しながら、実現可能で具体的な探究テーマを設定できる。</p> <p>b: 文献調査から社会問題を認識し、先行研究を基に興味分野を深掘りし、独自の研究テーマを定め探究できる。</p> <p>c: 文献調査で社会問題に気付き、多角的な先行研究を通じて関心分野に深く向き合い、独自の研究テーマを設定し探究できる。</p>
後期中間	探究を実践する	<p>①自らの探究内容に応じた、実地調査や実験等の準備を行う。</p> <p>②実地調査や実験等を行い、成果をまとめて報告する。</p> <p>③報告内容を振り返り、探究を修正・発展させる。</p> <p>④発展させた探究内容とその成果をまとめる。</p>	<p>a: 適切な方法で調査や実験を行い、得られたデータを統計的・質的分析手法を用いて分析し、それらを論理的に整理して効果的に伝えることができる。</p> <p>b: 実地調査や実験の計画と実施、成果の報告、自己反省を通じた探究の改善及びその成果の整理を行い、発表を通じて他者に伝えることができる。</p> <p>c: 探究したい内容に基づく準備、実地調査や実験を経て成果を報告し、それらの反省を踏まえた修正・発展を経て最終成果をまとめることができる。</p>
後期期末	探究成果を発表する	<p>①探究成果を高校生国際会議等で発表する。</p> <p>②一年間の探究成果の報告を行い、これまでの探究内容とその成果をまとめる。</p> <p>③二年間の探究学習を振り返り、今後の自分の生活や学びに生かす。</p>	<p>a: 調査結果やデータに基づいて論理的かつ説得力のあるプレゼンを行うことができ、探究学習の成果を学術的に優れた文章でまとめることができる。</p> <p>b: 探究成果を校内外で発表し、一年間の成果報告のまとめを他者に伝えることができる。</p> <p>c: 探究成果を校内外で発表し、その成果をまとめ、二年間の探究活動を振り返って、得た知見を生活と学びに反映させることができる。</p>

※ 表中の観点について a: 知識・技能, b: 思考・判断・表現, c: 主体的に取り組む態度 である。